【図画工作科】

１　昨年度の授業改善推進プランの検証・評価

○児童が材料や作品と向き合い、完成したら個別に声をかけ、粘り強く作品に取り組むことができた。
○鑑賞の活動では、見て気付いたことや分析したことを基に、自分の意見を伝えることはできた。
△タブレット PC を有効に使い、児童が意欲的に取り組んだり、自分の学習を振り返ったりすることができるようにする。

２　学習状況の分析と課題

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
学習状況の分析	低学年は、手や体全体の感覚などを働かせ、身近な材料や用具に十分に慣れることができる。中学年は、材料や用具を使いこなすために、試行錯誤し工夫しようとしている。高学年は、自分の思いを表現するために、今までの経験や技能を総合的に生かし、適切に表すことができる。	低学年は、形や色を選んだり、組み合わせを考えたりして、表し方を考えることができる。中学年は、豊かに発想や構想することができる。高学年は、自分の見方や感じ方を広げたり、自分の作品について振り返ったりして、表したいことを考えることができる。	低学年は、楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができる。中学年は、進んで表現する活動に取り組むことができる。高学年は、作品をよく見て、細かい部分まで作ろうと取り組むことができる。
課題	・自分の作品について振り返ったり、新たに目標を立てたりして、持続的に意欲をもって取り組むことに課題である。 ・鑑賞活動では、見て気付いたことや分析したことを基に、自分の意見を伝えることはできるが、自分が感じたことや想像したことなどの自分の思いや考えを添えて、より具体的に説明する経験が少ない。		

３　授業の具体的な改善策

目標

学習指導要領の教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

(2)　造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3)　つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

全体

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

・児童が、生活体験や思い、学校生活で学んだことを作品に表現したり結び付けたりしやすい題材を設定する。
・作業手順を板書で短文や図で明記し、どの児童も見通しをもって制作活動に取り組めるようにする。
・活動中は、作品との対話を大切に、各自集中して活動させ、途中で気付きを発表し共有する学び合いの時間を確保する。
・題材の始めに目標を立てて取り組み、題材の終わりには自分の作品について説明したり、学んだことを文書に書いたりして振り返る。タブレットPCで作品の写真を撮って記録し学習を振り返りやすくする。また、児童同士で作品を見合い、見方や感じ方を深められるようにする。

学年段階別改善策

低学年

・用具の安全面について学級全体で確認する際は、発問して考えさせ、提示することで印象付ける。
・作品例を見せたり実演指導したりして、活動のイメージをもたせやすくする。
・発想の手助けやアイディアの共有をするために、アイディアスケッチを活用する。
・児童の主体的な活動や表現の工夫、成長に対し、価値付けとなる声掛けを行い、学級や学年で共有する。
・自他の作品を振り返り、よさや面白さを見付けて、言葉で表す時間を確保する。

中学年

・興味や関心をもって題材に取り組めるように、題材設定を工夫するとともに、使用する材料の材質や大きさを十分検討する。
・材料を生かして作品を作るために、材料の特徴をじっくり確認し、気付いたことを学級で共有する時間を確保する。
・用具の基本的な扱い方や活用を、発問や掲示物で示し、共有して、基本的技能の習得を図る。
・各作品で活動途中や完成後に、作品の鑑賞会の時間を設け、ワークシートに『どう感じたか』『理由は』など、視点を示して具体的な言葉で書かせたものを交流させ、学級で共有し、教員が価値付けをする。

高学年

・今までの経験や技能を総合的に生かし、生活や思い、身近な芸術と結び付けながら表現できるような題材を設定し、用途や美しさを考えさせながら取り組ませる。
・構図や色彩、用具、技法等の組み合わせ方を工夫させることによって、児童の作品により深みをもたせ、児童の自信につながるようにする。
・自他の作品や親しみのある美術作品を見て、感じたことや気付いたことを基に自分の考えや思いを添えて説明できるようにする。
・授業のめあてを確認し、めあてをもとに自分の思いを膨らませ、表現することで知識・技能を身に付けることができるようにする。